

中山間地域フォーラム設立 8 周年記念シンポジウム 「はじまった田園回帰 — 『市町村消滅論』を批判する」

人口減少時代における「東京一極集中傾向」が大きな話題となる中で、農山漁村においては若者を中心とした「田園回帰」が生まれつつある。以前から徐々に始まっていたものだが、この2～3年、地域によっては目に見えて活発化している。若者は、なぜ農山漁村に向かっているのか。そこで、どのような暮らしを築こうとしているのか。こうした動きを、「東京一極集中傾向」「極点社会化」を反転させる全国的なうねりに発展させていくにはどうしたらよいか。本シンポジウムでは、「市町村消滅論」が見落とす「田園回帰」の全貌に迫る。

- 【テーマ】 「はじまった田園回帰 — 『市町村消滅論』を批判する」
【日時】 2014年7月13日（日）14時～17時50分
【会場】 東京大学弥生講堂一条ホール
（東京都文京区弥生1-1-1、地下鉄南北線東大前駅から徒歩1分）
【主催】 特定非営利活動法人 中山間地域フォーラム
【共催】 島根県中山間地域研究センター
【後援】 （財）農学会、全国町村会、全国山村振興連盟、全国水源の里連絡協議会、全国中山間地域振興対策協議会、ふるさと回帰支援センター、地球緑化センター、農山漁村文化協会（交渉中を含む）

【プログラム】

- 解題 「市町村消滅論と田園回帰—日本社会の対抗軸」 小田切徳美氏（明治大学教授）
報告1 「中国山地における『田園回帰』」
藤山浩氏（中山間地域研究センター研究統括監・島根県立大学教授）
報告2 「『田園回帰』はこうして定着した」 石橋良治氏（島根県邑南町長）
報告3 「私の『田園回帰』」 Iターン者（未定、女性）
コメント 「『田園回帰』を支える『半農半X』」 塩見直紀氏（半農半X研究所代表）

パネルディスカッション 「田園回帰」をオールジャパンの動きに！
コーディネーター 小田切徳美氏 会場からの質疑を中心に行います

【共催企画】

中山間地域研究センター・企画展示（弥生講堂・オープンスペース）
「ここまでわかってきた中山間地域問題とその対策—分野横断型の研究を一挙紹介！」
（仮題）

- * 終了後、講演者の参加も得て懇親会（会費制）を予定しています。
- * シンポジウムに参加の皆様には資料代として2,000円（学生は1,000円）をいただきます。
- * シンポジウム及び懇親会には、フォーラム会員でなくても、どなたでも参加できます。

【申し込み方法】

中山間地域フォーラムのホームページ（<http://www.chusankan-f.org/>）の専用申し込みフォームよりお申し込みください。なお、会場の都合により先着300名で締め切らせていただきますので、早めにお申し込みください。

【問い合わせ先】 中山間地域フォーラム事務局（メール：tebento-staff@chusankan-f.org）
（事務局には職員は常駐していませんので、メールにてお問い合わせください。）